

2025 年 12 月 12 日

CDP「気候変動」分野で、最高評価の「A リスト」に 2 年連続選定 「ウォーター」分野は、「A-」評価を獲得

住友金属鉱山株式会社（本社：東京都港区）は、国際的な非営利団体 CDP より、各分野における取り組みと、情報開示の透明性が認められ、「気候変動」分野で最高評価となる「A リスト」に 2 年連続で選定されました。また、「ウォーター」分野では、上位 2 段階目の「A-（A マイナス）」評価を獲得しました。



CDP は、企業や自治体の環境情報開示のための世界的なシステムを運営する非営利団体で、2024 年には、世界の時価総額の 3 分の 2 に相当する 24,800 社以上、1,000 以上の自治体が CDP の質問書を通じて環境情報を開示しました。

住友金属鉱山グループは、2050 年のカーボンニュートラル実現に向けて策定したロードマップに基づき、操業改善や技術革新により温室効果ガス（GHG）排出量や排出原単位を削減するとともに、電池材料や近赤外線吸収材料といった低炭素貢献製品を開発し事業を拡大することにより地球全体での GHG 排出量の削減に取り組んでいます。

また、水資源に関しても、リサイクル水・リユース水の使用促進による取水量・排水量の削減や、水バランスの把握と使用量の最適化による水の有効利用促進など、「住友金属鉱山グループの水に関する方針」に基づいた活動に取り組んでいます。

今後も気候変動や水に対する取り組みと情報開示を積極的に行い、持続可能な社会の実現を目指してまいります。

<本件に関する報道関連のお問い合わせ>

住友金属鉱山株式会社 広報 IR 部 TEL: 03-3436-7705